

株式会社椿本チエイン  
2009年3月期 第2四半期（中間）  
決算説明会



2008年11月25日

# 「2009年3月期 第2四半期(中間) 業績報告・通期見込み」

- 2009年3月期 第2四半期(中間)業績報告
- 2009年3月期 通期見込みと事業別の方策

## ■ 上期における売上高、利益は過去最高

## ■ 受注高は、景気減速などの影響から、前年同期比でダウン

(単位:百万円)

	上期実績	対前年同期比	
		増 減	(増減率)
受 注 高	79,913	▲ 2,205	(▲ 2.7%)
売 上 高	82,057	2,211	( 2.8%)
-GB数値(参考)-			
チェーン	24,100	▲ 300	(▲ 1.6%)
精機	14,800	1,300	( 9.7%)
自動車部品	25,700	300	( 1.2%)
マテハン	16,300	900	( 6.4%)
営業利益	8,942	153	( 1.7%)
経常利益	9,066	608	( 7.2%)
経常利益率	11.0%	0.4%	
四半期純利益	5,612	1,028	( 22.4%)

北米の落ち込みを国内でカバーするも若干のダウン

4ビジネスユニットがすべて好調に推移し大幅増収

北米の落ち込みが影響し、伸びが鈍化

自動車、新聞、セメント向け設備が好調

精機事業の回復によりパワトラ部門は収益性がさらに向上

※実績為替レート : 1US\$ = 106.12円、1Euro = 162.79円

### ■アジア・オセアニアが続伸するも、北米・欧州の落ち込みが大きく、売上高、利益とも微増にとどまる

(単位:百万円)

		上期実績	対前年同期比	
			増 減	(増減率)
日 本	売上高	66,373	3,843	( 6.1%)
	営業利益	8,103	537	( 7.1%)
	営業利益率	12.2%	0.1%	
北 米	売上高	14,590	▲ 1,803	(▲ 11.0%)
	営業利益	958	▲ 469	(▲ 32.9%)
	営業利益率	6.6%	▲ 2.1%	
欧 州	売上高	4,730	▲ 275	(▲ 5.5%)
	営業利益	477	▲ 57	(▲ 10.7%)
	営業利益率	10.1%	▲ 0.6%	
アジア・オセアニア	売上高	6,914	1,572	( 29.4%)
	営業利益	1,127	237	( 26.6%)
	営業利益率	16.3%	▲ 0.4%	
そ の 他	売上高	53	—	
	営業利益	▲ 11	—	
	営業利益率	—		
消去又は全社	売上高	▲ 10,604		
	営業利益	▲ 1,713		
連 結	売上高	82,057	2,211	( 2.8%)
	営業利益	8,942	154	( 1.8%)
	営業利益率	10.9%	▲ 0.1%	

※本項目集計は  
07/下より

■ アジア・オセアニアの伸長により  
海外売上高比率は、前年同期比で0.6%上昇

(単位:百万円)

	上期実績	対前年同期比	
		増 減	(増減率)
海外計	29,993	1,259	( 4.4% )
売上高構成比	36.6%	0.6%	
北 米	14,413	▲ 1,892	(▲ 11.6% )
売上高構成比	17.6%	▲ 2.8%	
欧 州	5,212	▲ 119	(▲ 2.2% )
売上高構成比	6.4%	▲ 0.3%	
アジア・オセアニア	10,197	3,387	( 49.7% )
売上高構成比	12.4%	3.9%	
その他地域	170	▲ 117	(▲ 40.8% )
売上高構成比	0.2%	▲ 0.2%	
国内計	52,064	952	( 1.9% )
売上高構成比	63.4%	▲ 0.6%	

---

# 2009年3月期 通期見込みと 事業別の方策

---

# 1. 2009年3月期 通期見込み

## ■世界的な景気減速、極度の円高などを勘案し、 通期見込みを下方修正

(単位:百万円)

	上期実績	下期見込	通期見込	参 考 (期初公表値)	
				増 減	(増減率)
売 上 高	82,057	72,143	154,200	169,000	▲ 14,800 (▲ 8.8%)
-GB数値(参考)-					
チェーン	24,100	24,400	48,500	51,200	▲ 2,700 (▲ 5.3%)
精機	14,800	13,200	28,000	29,400	▲ 1,400 (▲ 4.8%)
自動車部品	25,700	21,500	47,200	54,100	▲ 6,900 (▲ 12.8%)
マテハン	16,300	12,400	28,700	32,000	▲ 3,300 (▲ 10.3%)
営業利益	8,942	3,958	12,900	18,600	▲ 5,700 (▲ 30.6%)
経常利益	9,066	3,234	12,300	17,000	▲ 4,700 (▲ 27.6%)
経常利益率	11.0%	4.5%	8.0%	10.1%	▲ 2.1%
四半期純利益	5,612	1,488	7,100	9,000	▲ 1,900 (▲ 21.1%)

※下期想定為替レート : 1US \$ = 95円、1Euro = 120円  
 (期初想定為替レート : 1US \$ = 100円、1Euro = 159円)

## 2. 事業別方策

### ■ 通期見込み達成のための方策

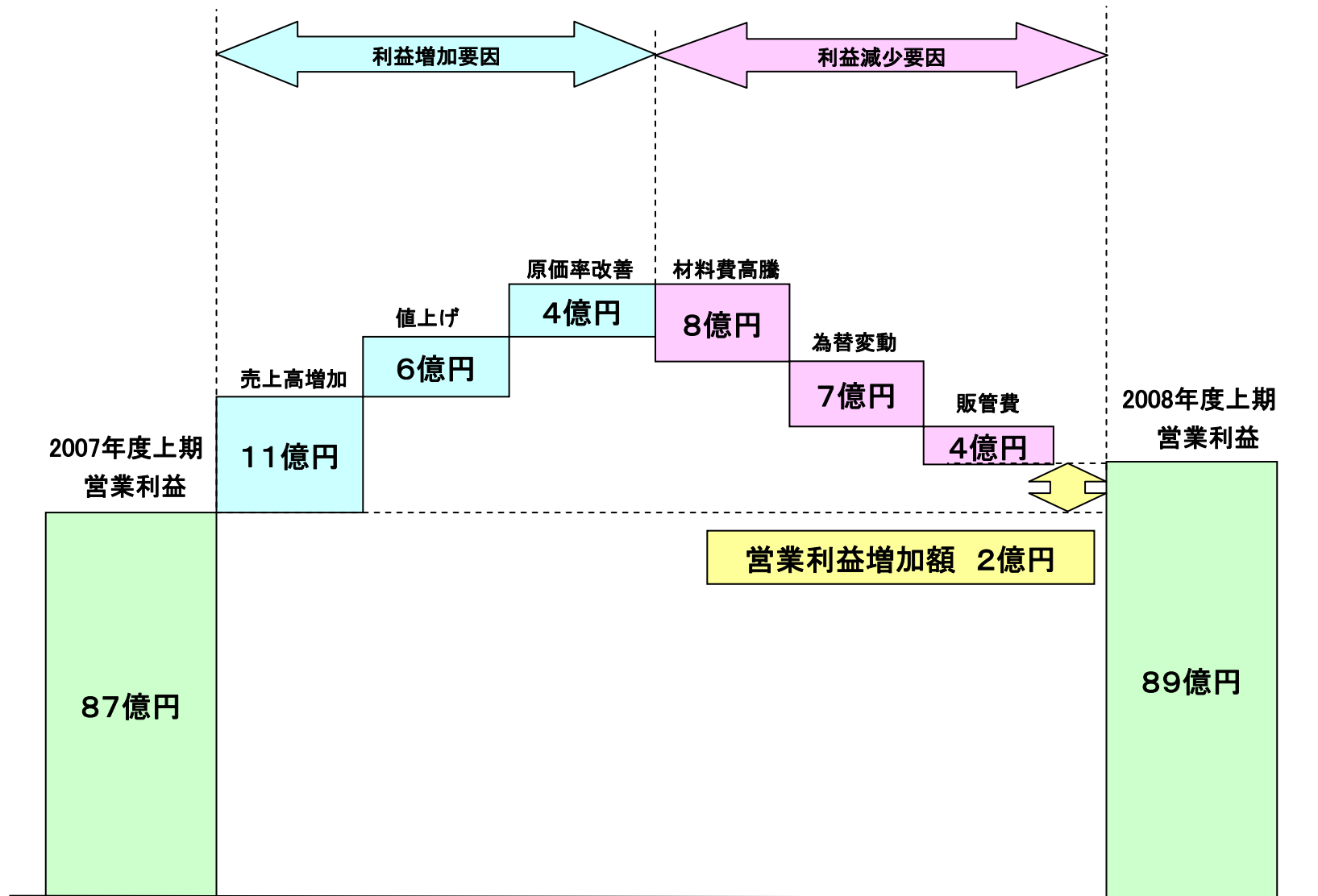
事業	方 策	
チェーン	<販売面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南米(ブラジル)、インドの新規顧客獲得</li> <li>・マイニング、鉄鋼、船舶、食品業界への拡販</li> </ul>
	<利益面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造要員のシフト見直しによる人件費および外注加工費削減</li> </ul>
精 機	<販売面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売強化 ①遊星減速機、②パワーシリンダで販促キャンペーン ③カップリング・パワーロック(特定代理店とのコラボ)</li> </ul>
	<利益面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残業削減、非正規社員削減などの経費節減</li> <li>・内作化率の向上(外部流出費の抑制)</li> </ul>
自動車部品	<利益面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費、外注加工費の抑制、操業調整による経費節減</li> <li>・京田辺移設計画を見直し、埼玉集中生産で効率化を図る</li> <li>・為替リスク低減のため、現地化の推進、最適地調達(Out-Out調達)を推進</li> </ul>
マテハン	<販売面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短納期案件掘り起こしによる売上の積み上げ</li> </ul>
	<利益面>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価目標設定細分化によるコスト低減</li> <li>・社内稼働率向上による生産性の改善(外部流出費の抑制)</li> </ul>



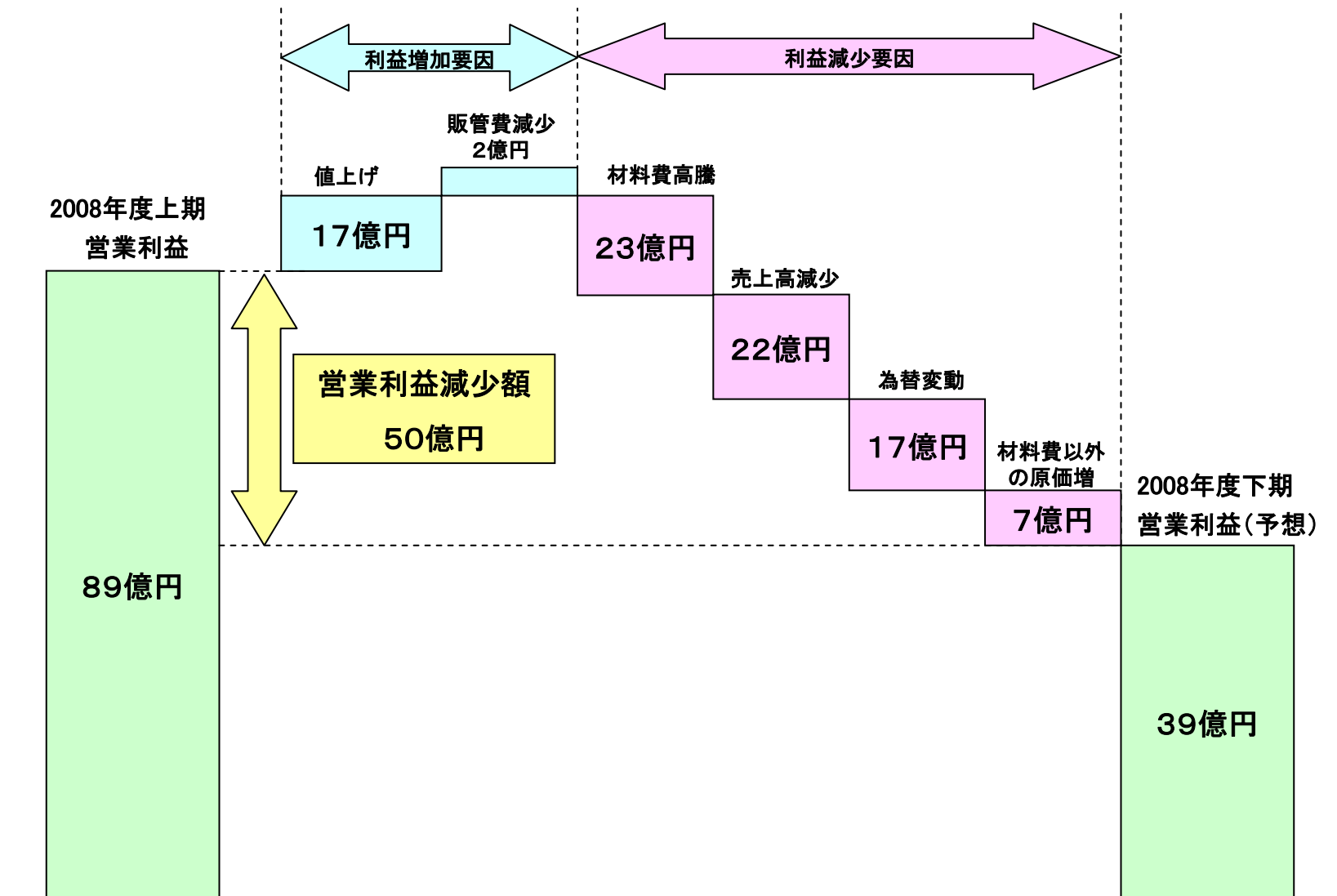
## 「2009年3月期 第2四半期(中間) 決算のポイント」

- 連結営業利益増減要因 2007年度上期と2008年度上期比較
- 連結営業利益増減要因 2008年度上期と2008年度下期予想比較
- 連結営業利益増減要因 2007年度通期と2008年度通期予想比較

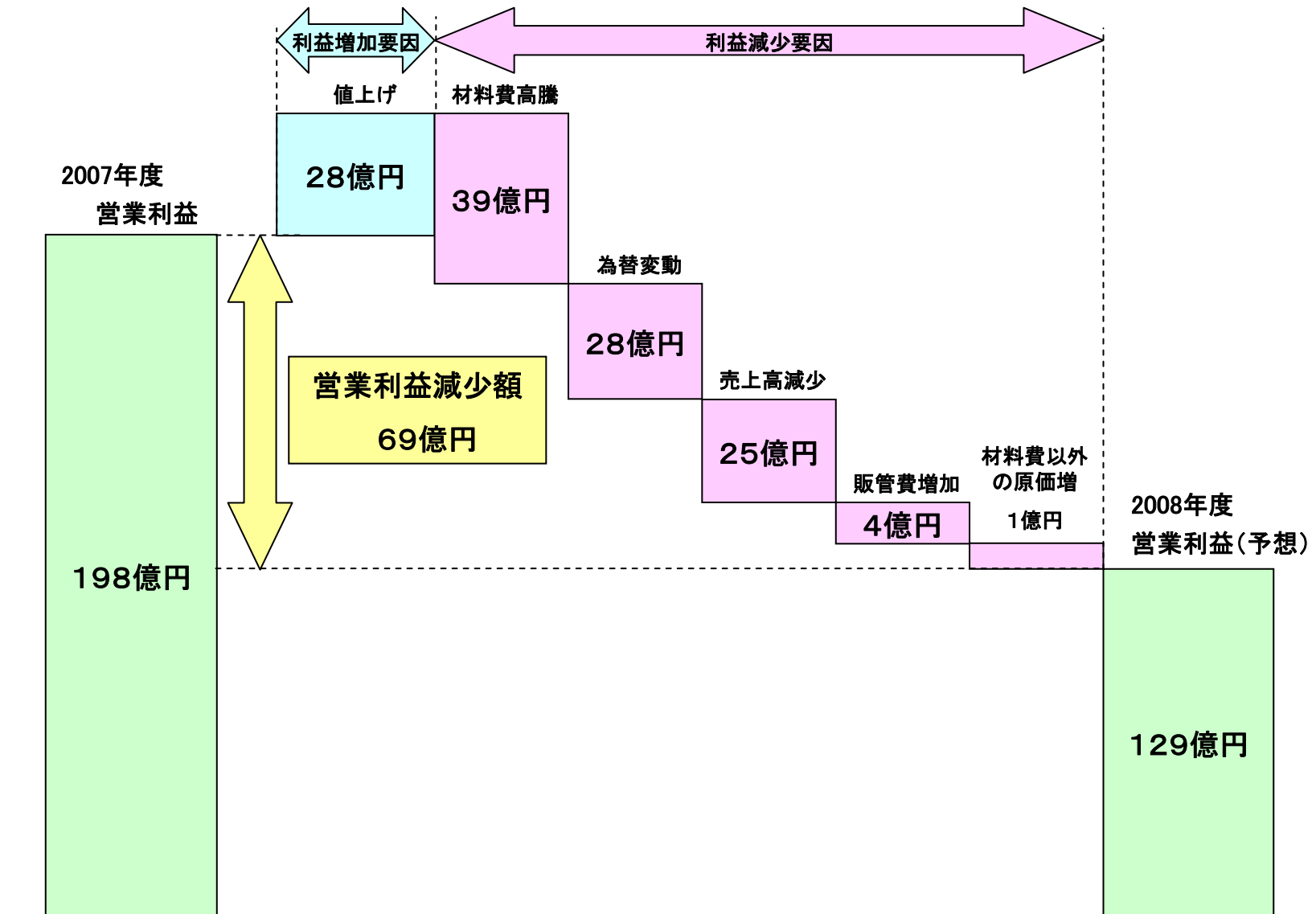
# 1. 連結営業利益増減要因 2007年度上期と2008年度上期比較



## 2.連結営業利益増減要因 2008年度上期と2008年度下期予想比較



### 3.連結営業利益増減要因 2007年度通期と2008年度通期予想比較



## Our Mission

—物づくり、夢づくり、世界の顧客と語り合う—  
私たちは、「パワーランスミッション」と  
「マテリアルハンドリング」の技術力を駆使して、  
世界の顧客にベスト・バリューを提供します。

## Our Vision

私たちは世界のリーディング・カンパニーを  
目指します。

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。

これらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などに基づいて作成しております。したがって、各種要因により、これらの業績見通しとは異なる結果になりうることをご承知おき下さい。